

# Makita

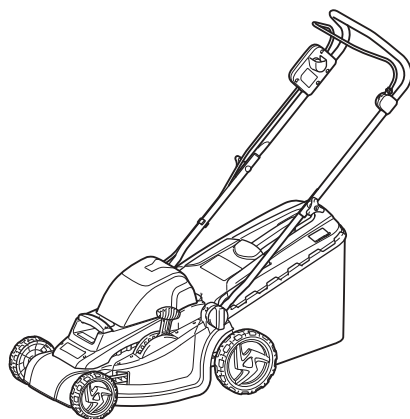
ヒューマンハードウェアのマキタ  
人の暮らしとすまいのために……

## 取扱説明書

## 380 mm 充電式芝刈機

モデル MLM380D

モデル MLM381D



このたびは 380 mm 充電式芝刈機をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



# 目次

・ 主要機能	3
・ 充電工具共通の安全上のご注意	6
・ 充電式芝刈機安全上のご注意	12
・ 各部の名称および標準付属品	14
・ 別販売品のご紹介	17
・ 使い方	18
・ ハンドルの組み立て方	18
・ 集草カゴの取り付け方	20
・ バッテリーとキーの取り付け・取りはずし方	21
MLM380D	
・ バッテリー保護機能	25
・ バッテリーについて	25
・ バッテリーの充電方法	26
・ 充電完了メロディーの切り替え方法	27
・ 充電表示ライトについて	28
・ 冷却システムについて	29
・ オートメンテナンス機能について	30
・ バッテリーを長持ちさせるには	30
・ バッテリーの回収について	30
・ 充電器の点検・修理・保管について	30
・ バッテリー切れお知らせ表示ランプ	31
MLM381D	
・ バッテリー保護機能	32
・ バッテリーについて	32
・ バッテリーの容量表示方法	32
・ 表示の見かた	33
・ バッテリーの充電方法	33
・ バッテリーを長持ちさせるには	35
・ バッテリーの回収について	35
・ 充電器の点検・修理・保管について	36
・ 刈り込み高さの調整	37
・ スイッチの操作	38
・ 刈り込み方法	39
・ 長い芝の刈り方	40
・ 芝の捨て方	41
・ 運搬について	42
・ 保管方法	42
・ ハンドルの折りたたみ方	42
・ 保守・点検について	43
・ 刃物の取りはずし方	43
・ 刃物の取り付け方	43
・ 困ったときは	44
・ 本機のお手入れ	45
・ ご修理の際は	45
・ マキタ充電式芝刈機保証書	48

## 主要機能

主要機能	モデル	MLM380D
電動機		直流マグネットモータ
バッテリー		リチウムイオンバッテリー
		バッテリー BL1840 (容量 4.0 Ah)
電圧		直流 36 V (18 V × 2)
回転数		3,700 min <sup>-1</sup> (回転 / 分)
刈り込み高さ		25 ~ 75 mm * 6 段階調整
刈り込み幅		380 mm
本機寸法		長さ 1,145 mm × 幅 465 mm × 高さ 1,023-1,070 mm (ハンドルを伸ばした状態) 長さ 680 mm × 幅 470 mm × 高さ 505 mm (収納した状態)
質量		14.9 kg (BL1840 装着時)
充電器		DC18RC
入力電圧		単相交流 100 V
入力周波数		50-60 Hz
入力容量		410 VA
出力電圧		直流 7.2-18 V
出力電流		直流 9 A




- 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

# 主要機能

主要機能	モデル	MLM381D
電動機		直流マグネットモータ
バッテリー		リチウムイオンバッテリー
		バッテリー BL3622A (容量 2.2 Ah)
電圧		直流 36 V
回転数		3,700 min <sup>-1</sup> (回転 / 分)
刈り込み高さ		25 ~ 75 mm * 6 段階調整
刈り込み幅		380 mm
本機寸法		長さ 1,145 mm × 幅 465 mm × 高さ 1,023-1,070 mm (ハンドルを伸ばした状態) 長さ 680 mm × 幅 470 mm × 高さ 505 mm (収納した状態)
質量		14.9 kg (BL3622A 装着時)
充電器		DC36WA
入力電圧		単相交流 100 V
入力周波数		50-60 Hz
入力容量		230 VA
出力電圧		直流 36 V
出力電流		直流 2.3 A

- 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

## 注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について


ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

### 警告

: 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

### 注意

: 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

### 注

: 製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意。

## ⚠ 警告

- ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
  - 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
  - 「充電工具」は、充電式（バッテリーパック式）電動工具を示します。
- a) 作業環境
1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
    - ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
  2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
    - 充電工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
  3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
    - 注意が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
    - 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
- b) 電気に関する安全事項
1. 電源コンセントは充電器の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。接地付きプラグは確実にアースをしてください。
    - 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
  2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアースされているものに身体を接触させないようにしてください。
    - 感電する恐れがあります。
  3. 充電工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。
    - 充電工具内部に水が入り、本機による感電やバッテリーが短絡する恐れがあります。
  4. 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。
    - 電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
    - 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体に絡まって感電する恐れがあります。
  5. 屋外の使用に適した延長コードを使用してください。
    - 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

## ⚠ 警告

### c) 作業者に関する安全事項

1. 「取扱説明書」と「安全上のご注意」をお読みになって、充電工具とその操作を理解した方以外は使用させないでください。
  - ・ 理解せずに使用することは危険です。
2. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
  - ・ 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
  - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる場合は、充電工具を使用しないでください。
  - ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
3. 安全保護具を使用してください。
  - ・ 作業時は、常に保護メガネを使用してください。必要に応じて、防じんマスク、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓（イヤマフ）などを着用してください。
4. 不意な始動は避けてください。
  - ・ スイッチに指をかけて運ばないでください。
5. 充電工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
  - ・ 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
6. 無理な姿勢で作業をしないでください。
  - ・ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
7. きちんとした服装で作業してください。
  - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
  - ・ 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
  - ・ 屋外での作業の場合には、すべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
  - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
8. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
  - ・ 充電工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

### d) 電動工具の使用と手入れ

1. 無理して使用せず作業に合った充電工具を使用してください。
  - ・ 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った負荷で作業してください。
  - ・ 小型の充電工具やアタッチメントは、大型の充電工具で行う作業には使用しないでください。
2. スイッチに異常がないか点検してください。
  - ・ スイッチで始動および停止操作のできない充電工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。

## ⚠ 警告

3. 充電工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、バッテリーを本機から抜いてください。
    - 本機の調整
    - 刃物、砥石、ビットなどの付属品の交換
    - 保管、または修理
    - その他危険が予想される作業
  4. 使用しない充電工具は、きちんと保管してください。
    - 子供の手の届かない安全な所、乾燥した鍵のかかる所に保管してください。
  5. 充電工具の保守点検をしてください。
    - 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
    - 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
    - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
    - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
    - コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
    - 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
    - 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
  6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
    - 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
  7. 充電工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
    - 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
  8. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。
- e) 充電工具の使用と手入れ
1. バッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
    - スイッチがオンの位置にあるときにバッテリーを差し込むと事故につながりません。
  2. バッテリーは専用充電器以外では充電しないでください。
    - ほかのバッテリー用の充電器を流用すると、火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
  3. マキタが指定した専用バッテリー以外使わないでください。また、改造したバッテリー（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。
    - 工具本体の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。



## ⚠ 警告

4. バッテリーの端子部を金属などで接触させないでください。
  - ・ バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡して発熱、発火、破裂の恐れがあります。
  - ・ 本機または充電器からはずした後は、バッテリーにバッテリーカバーを必ず取り付けてください。
5. 高温などの過酷な条件下ではバッテリーから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触れないでください。
  - ・ 万が一、バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。
  - ・ バッテリーの液は炎症ややけどの原因になることがあります。

### f) 整備

1. 充電工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
  - ・ 本機、充電器、バッテリーを分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
  - ・ 本機が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
  - ・ 本機は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
  - ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
  - ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。

### その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。
  - ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
  - ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
  - ・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。  
<異常・故障例>
    - ・ 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
    - ・ 電源コードに深いキズや変形がある。
    - ・ 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
    - ・ 焦げくさい臭いがする。
    - ・ ビリビリと電気を感じる。
  - ・ スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐにバッテリーを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。

## ⚠ 警告

2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
  - ・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
  - ・ 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます。(材料を動かして加工する製品を除く。)
4. 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
5. 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。
6. ご使用済みのバッテリーは一般家庭ゴミとして棄てないでください。
  - ・ 棄てられたバッテリーがゴミ収集車内などで破壊されて短絡し、発火・発煙の原因になる恐れがあります。
7. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
  - ・ 爆発や火災の恐れがあります。
8. 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。
  - ・ ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
  - ・ 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを差し込まないでください。
  - ・ 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。
9. 充電器のバッテリー装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。
  - ・ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
10. 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。
11. 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
12. バッテリーは、火への投入、加熱をしないでください。
  - ・ 発火、破裂の恐れがあります。
13. バッテリーに釘を刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしないでください。
  - ・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
14. バッテリーを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
  - ・ バッテリーを周囲温度が 50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリー劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

## ⚠ 警告

### 15.正しく充電してください。

- 充電器は定格表示してある電源で使用してください。昇圧器などのトランス類を使用したり直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。(当社インバータ制御付エンジン発電機は除く。)異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- 周囲温度が 10℃未満、または周囲温度が 40℃以上ではバッテリーを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- バッテリーは、換気の良い場所で充電してください。バッテリーや充電器を充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- 使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。破裂や火災の恐れがあります。
- 電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように場所で充電してください。発煙、発火、感電の恐れがあります。

### 16.ぬれた手で電源プラグに触れないでください。

- 感電の恐れがあります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- ほかにの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

### ●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

# 充電式芝刈機安全上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、充電式芝刈機として、さらに次の注意事項を守ってください。

JPB204-4

## ⚠ 警告

1. 芝刈機を雨中や湿気の多い所で使用したり、放置しないでください。
  - ・ 感電や本機およびバッテリーが故障する恐れがあります。
2. 必ず長ズボン、運動靴などを着用してください。
  - ・ 刃物に小石などが当たって飛散し、けがの恐れがあります。
3. 小さい子供やペットのいるそばで使わないでください。また小さい子供には絶対に使わせないでください。
  - ・ 事故の原因になります。
4. 芝刈機を使用する前に、作業場所内にある小石、棒切れなどの障害物を除去してください。
  - ・ 小石などが刃物に当たるとけがの恐れがあります。
5. 刃物が回転している間は、刃物や切り屑の排出口には手足や顔などを近づけないでください。
  - ・ けがの恐れがあります。
6. スイッチを切っても刃物はすぐ止まりません。本機の持ち運び、刃物の点検やお手入れは、必ず刃物が止まっていることを確認し、本機からバッテリーを抜いてください。
  - ・ けがの恐れがあります。
7. 集草カゴをはずしたままでは使用しないでください。
  - ・ けがの恐れがあります。
8. 使用中、本機の調子が悪かったり、異常音が出たときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
  - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
9. 誤って落としたり、ぶつけたときは、本機などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
  - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
10. 刃物にひび・欠けなどの異常があったときには、新しい刃物と交換してください。
  - ・ 切れ味が悪くなるばかりでなく、けがの原因になります。
11. 使用中は、本機を確実に保持してください。
  - ・ 確実に保持していないと、本機が振れ、けがの原因になります。
12. 芝刈作業以外（除草など）には使用しないでください。
  - ・ 本機に負荷が加わり、事故やけが、故障の恐れがあります。

## ⚠ 注意

1. 刃物は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
  - ・ 確実にないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. 使用しない場合は、必ず屋内に保管し、保管場所として次のような場所を避けてください。
  - ・ 子供の手が届いたり、簡単に持ち出せる所
  - ・ 温度や湿度の急変する所
  - ・ 湿気の多い所
  - ・ 直射日光の当る所
  - ・ 揮発性物質の置いてある所
  - ・ 事故の恐れがあります。
3. 油および殺虫剤などの薬品が本機に付いたままにしないでください。
  - ・ 変色・変形・割れなど、本機が損傷する恐れがあります。
4. 取り付けネジの点検  
本機を正しく、安全にお使いいただくためにも、使用前に点検して、ゆるんでいたら締め直してください。

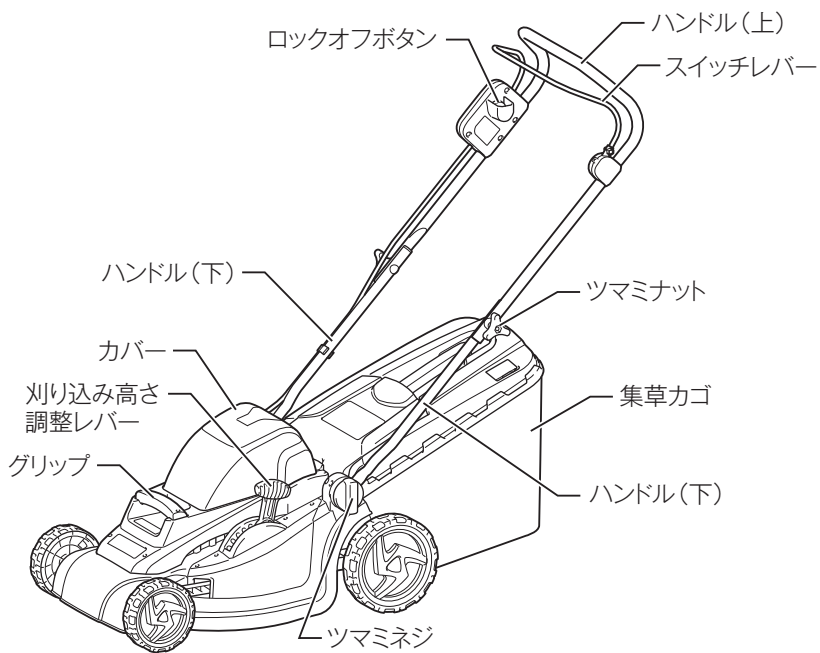
## 注

- ・ 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、充電器を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できる延長コードの太さ（公称断面積）と長さの目安

コードの太さ（導体公称断面積）	コードの長さの目安
2.0 mm <sup>2</sup>	30 m

# 各部の名称および標準付属品



## 各部の名称および標準付属品

### 製品の組み合わせおよび標準付属品

#### MLM380D

標準付属品 \ モデル	MLM380DZ	MLM380DRM2
バッテリー	×	○ BL1840 (2 個)
充電器 (充電時間)	×	○ DC18RC (約 36 分)
レンチ	○	○
バッテリーカバー	×	○ (2 個)

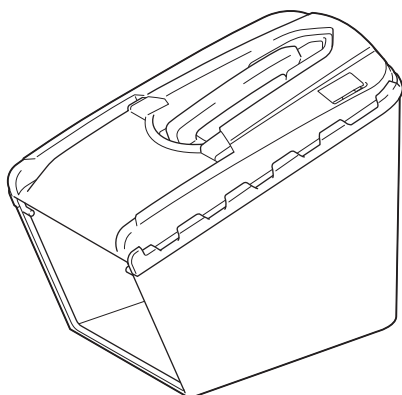
#### MLM381D

標準付属品 \ モデル	MLM381DZ	MLM381DWBX
バッテリー	×	○ BL3622A (2 個)
充電器 (充電時間)	×	○ DC36WA (約 60 分)
レンチ	○	○
バッテリーカバー	×	○ (2 個)

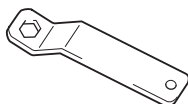
# 各部の名称および標準付属品

## 各仕様共通の梱包部品

- ・ 集草カゴ 1個



- ・ レンチ 1本



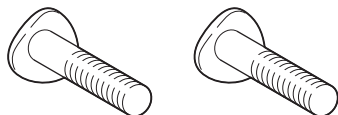
- ・ ツマミナット 2個



- ・ カールワッシャ 2個



- ・ ボルト 2本

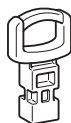


- ・ ホルダ 1個



- ・ キー 1本

キーを本機からはずしておく、本機が作動しないようにすることができます。作業時はキーを本機に取り付けた状態にしてください。





## 別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げ販売店もしくは、当社営業所へお問い合わせください。

### MLM380D

- ・ 芝刈刃  
部品番号：A-57831
- ・ バッテリー BL1830（容量 3.0 Ah）  
部品番号：A-47896
- ・ バッテリー BL1840（容量 4.0 Ah）  
部品番号：A-56596
- ・ 充電器 DC18RC  
部品番号：JPADC18RC

### MLM381D

- ・ 芝刈刃  
部品番号：A-57831
- ・ バッテリー BL3622A（容量 2.2 Ah）  
部品番号：A-52261
- ・ バッテリー BL3626（容量 2.6 Ah）  
部品番号：A-49965
- ・ 充電器 DC36WA  
部品番号：JPADC36WA  
バッテリー BL3622A 専用充電器です。
- ・ 充電器 DC36RA  
部品番号：JPADC36RA  
バッテリー BL3626 専用充電器です。

### 充電器とバッテリーの使用可能な組み合わせ

充電器 \ バッテリー	BL3626	BL322A
DC36RA	○	×
DC36WA	×	○

# 使い方

## ハンドルの組み立て方

### ⚠ 警告

組み立てる際はバッテリーまたはキーを抜いてください。

- ・ 本機が作動し、けがの原因になります。

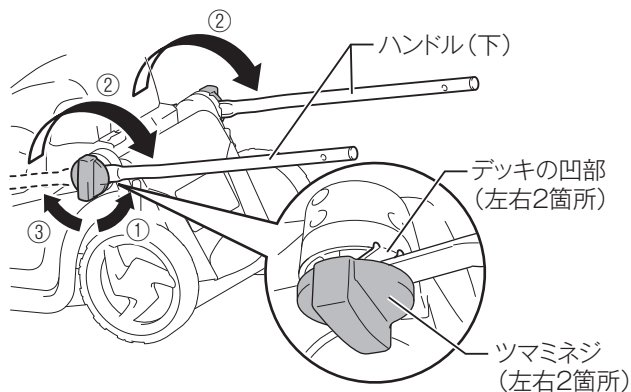
### ⚠ 注意

組み立てる際は、本機とスイッチをつないでいるコードをかみこんだりしないように注意してください。

ツマミネジ、ツマミナットは左右とも確実に締めてください。

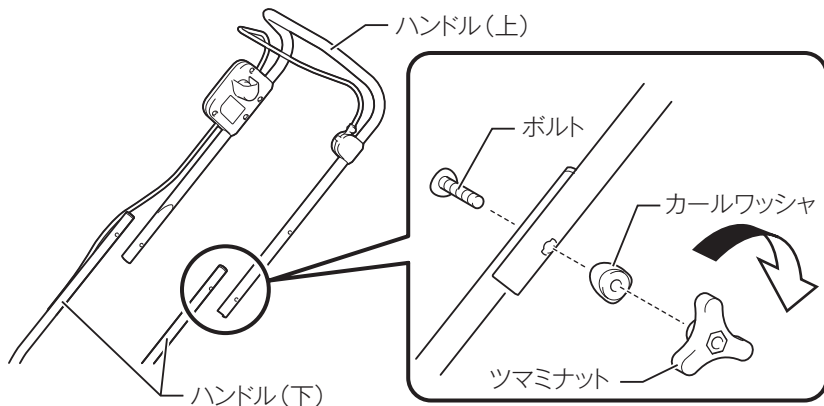
- ・ しっかり締めないと操作中にゆるんで事故の原因になります。

1. ハンドル（下）を固定しているツマミネジ（左右2箇所）をゆるめます。
2. ハンドル（下）を少し広げながら矢印方向に倒し、デッキの凹部にはめます。
3. ツマミネジを締め付けてハンドル（下）を固定します。



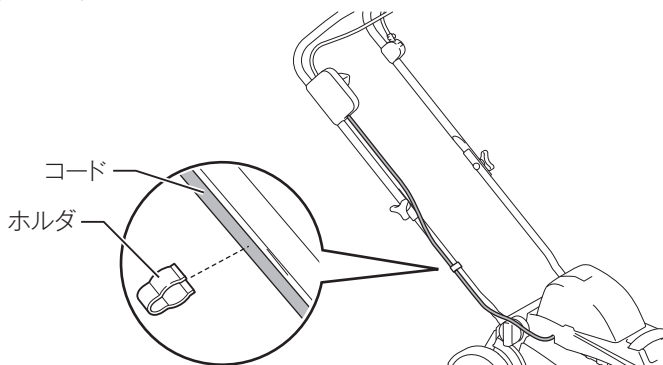
## 使い方

4. ハンドル(下)とハンドル(上)の穴を合わせて、付属のボルト、カールワッシャとツマミナットでしっかり締め付けてハンドル(上)をハンドル(下)に固定します。  
このとき、ハンドル(上)を落とさないようしっかりと保持して作業を行ってください。



### 注

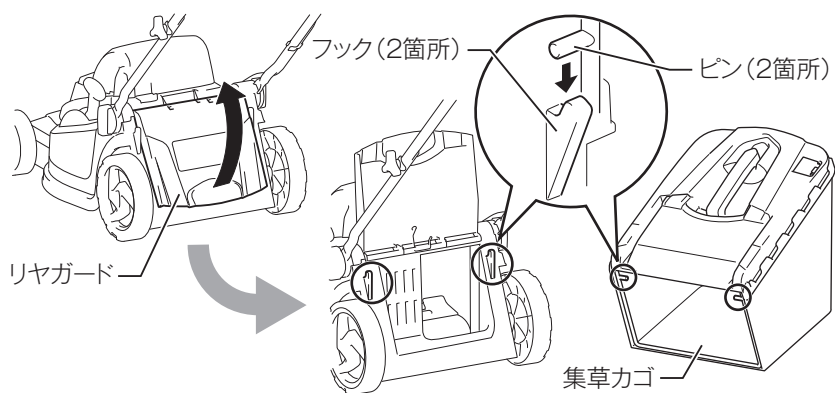
- ボルトの頭とカールワッシャは曲面になっています。必ず、ハンドルの曲面と向きを合わせて取り付けてください。
5. ハンドル(上)の向きとコードが図のようになるようにホルダを組み付けてください。



# 使い方

## 集草カゴの取り付け方

1. バッテリーまたはキーをはずします。
2. 本機のリヤガードを持ち上げたまま、集草カゴのピン（2箇所）を本機のフック（2箇所）に引っかけて取り付けます。



# 使い方

## バッテリーとキーの取り付け・取りはずし方

### ⚠ 警告

バッテリーは確実に本機に差し込んでください。バッテリーを差し込んだ際に“カチッ”と音がしていない場合は完全にロックされていません。本機のバッテリー差し込み口に“カチッ”と音がするまでしっかり差し込んでください。

- ・ 差し込みが不十分の場合、はずれて事故の原因になります。

### ⚠ 注意

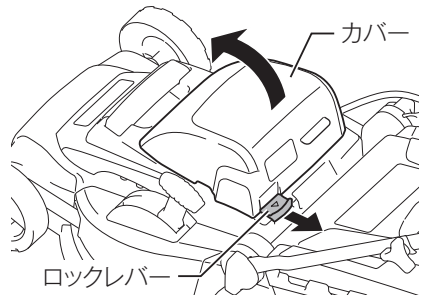
カバーは、取りはずした状態で使用しないでください。

- ・ 本機およびバッテリーが故障する恐れがあります。

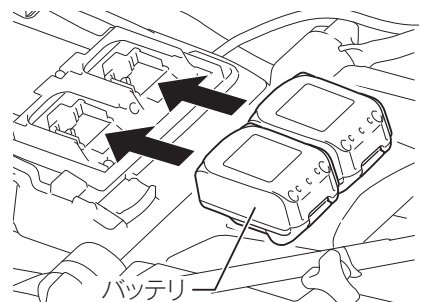
## MLM380D

### 取り付け方

1. ロックレバーを引き、カバーを持ち上げます。



2. バッテリーを図のような向きでカチッと音がするまで差し込みます。

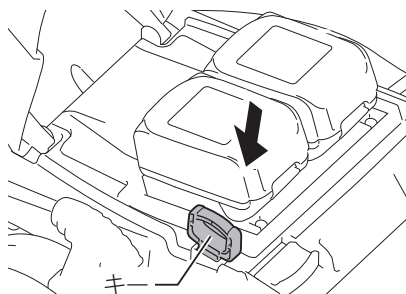


### 注

- ・ 必ず充電済みのバッテリー 2 本を取り付けてください。バッテリーが 1 本の場合や、バッテリー 2 本のうち片方が充電されていない場合はスイッチが入りません。

## 使い方

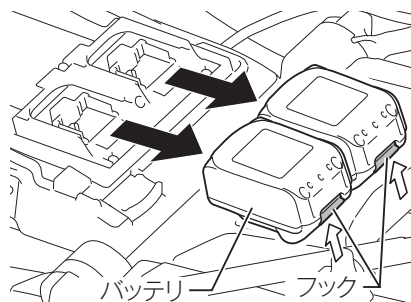
3. キーを図の位置の奥まで差し込みます。



4. カバーを閉じます。ロックレバーのロックがかかるまでカバーを押してください。

### 取りはずし方

1. ロックレバーを引き、カバーを持ち上げます。
2. バッテリーのフックを押しながら、図のような向きでバッテリーを抜きます。



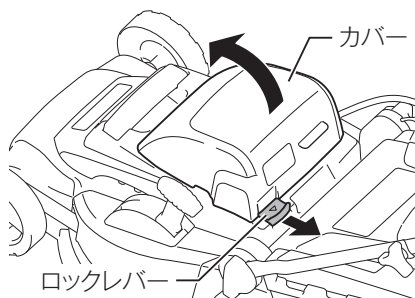
3. キーをはずします。  
はずしたキーは子供の手の届かない所に保管してください。
4. カバーを閉じます。

# 使い方

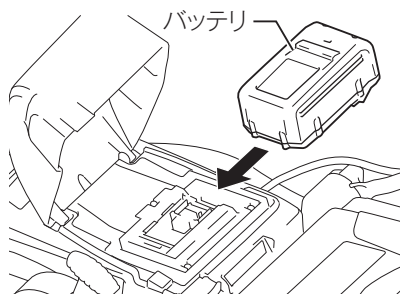
## MLM381D

### 取り付け方

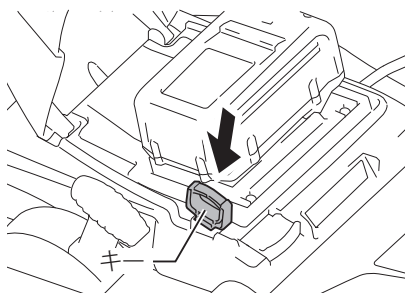
1. ロックレバーを引き、カバーを持ち上げます。



2. バッテリーを図のような向きでカチッと音がするまで差し込みます。



3. キーを図の位置の奥まで差し込みます。

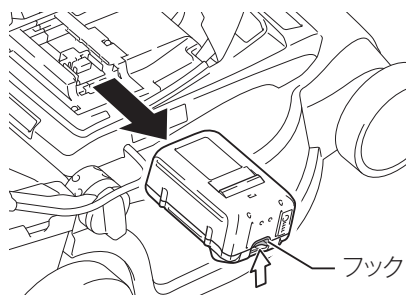


4. カバーを閉じます。ロックレバーのロックがかかるまでカバーを押してください。

# 使い方

## 取りはずし方

1. ロックレバーを引き、カバーを持ち上げます。
2. バッテリーのフックを押しながら、図のような向きでバッテリーを抜きます。
3. キーをはずします。  
はずしたキーは子供の手の届かない所に保管してください。
4. カバーを閉じます。





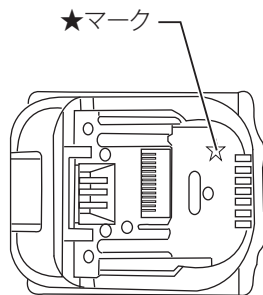
# 使い方

## MLM380D

### バッテリー保護機能

(★マーク付きバッテリーを使用する場合)  
バッテリー寿命を長くする目的で出力を自動停止する保護機能が付いています。本機を使用中、下記状態になりますとモータが自動停止しますが、これはバッテリーの保護機能によるものであり故障ではありません。

- ・ 本機が過負荷状態になるとモータが自動停止します。  
このときはいったんスイッチを離し、本機よりバッテリーを取りはずした後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。
- ・ バッテリーの温度が高温になるとモータが自動停止します。スイッチを操作してもモータは停止したままです。このときはバッテリーの使用を中断し、本機よりバッテリーを取りはずし、バッテリーを冷ますか、または充電してください。
- ・ バッテリーの容量が少なくなるとモータが自動停止します。スイッチを操作してもモータは停止したままです。このときは本機よりバッテリーを取りはずし、バッテリーを充電してください。



### バッテリーについて

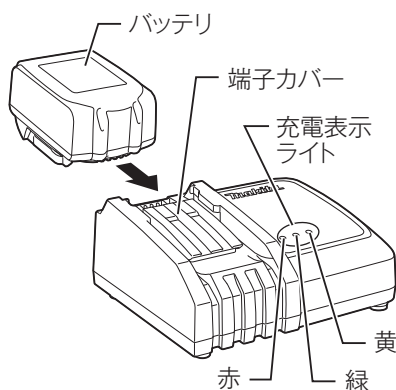
- ・ お買い上げ時は、バッテリーは十分に充電されていないため、バッテリー保護機能が働いている場合があります。(スイッチを操作すると本機は動く恐れがありますので注意してください。) ご使用前に急速充電器で正しく充電してからご使用ください。
- ・ 使用しないときはバッテリーカバーをかぶせてください。バッテリーを水やほこりから保護するのに役立ちます。

# 使い方

## DC18RC

### バッテリーの充電方法

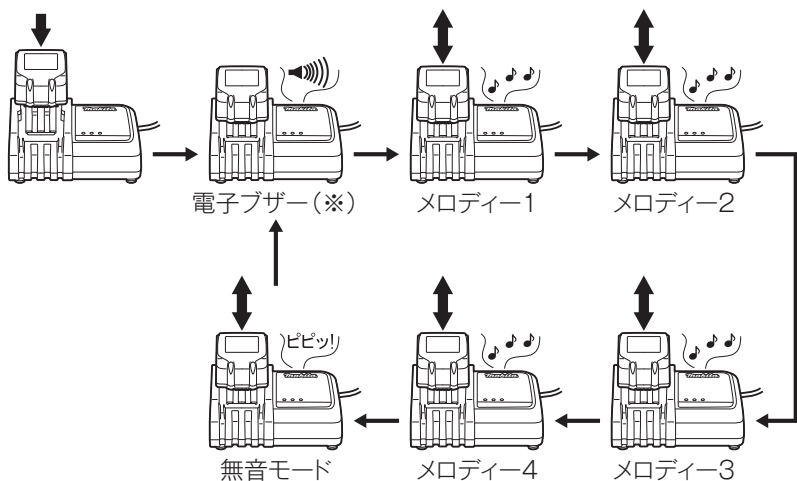
1. 急速充電器の電源プラグを 100 V の電源コンセントに差し込んでください。充電表示ライトは「緑」の点滅を繰り返します。
2. バッテリーを急速充電器の挿入ガイドにそって、一番奥まで入れてください。充電器の端子カバーはバッテリー挿入に伴い開閉します。
3. バッテリーを挿入しますと充電表示ライトが「赤」に点灯し、現在設定されている充電完了メロディーが短時間流れ、充電を開始します。充電が完了すると「緑」の点灯に変わり、充電完了メロディーや電子ブザーが鳴ります。そのままバッテリーを挿入しておけば、バッテリーを冷却します。充電時間は周囲温度（10℃～40℃）やバッテリーの状態（新品・長期保存バッテリーや寿命に近いバッテリーなど）により変動します。
4. 充電完了後すぐに使用しない場合は、バッテリーの冷却を行いますので、そのまま差し込んでおくことをおすすめします。冷却時間は約 1 時間です。
5. バッテリーを抜き取り、電源コンセントから急速充電器の電源プラグを抜いてください。



# 使い方

## 充電完了メロディーの切り替え方法

1. バッテリーを充電器に差し込むと、現在設定（※）されている充電完了メロディーの確認音が短時間流れます。
2. このとき、約 5 秒以内にバッテリーを差し直すと充電完了メロディーの確認音が変わります。
3. 続けて約 5 秒以内にバッテリーを差し直すたびに充電完了メロディーの確認音が順に変わります。
4. 設定したい充電完了メロディーの確認音が流れましたら、バッテリーを挿入したままにすることで充電を開始します。  
「ピピッ!」と鳴るモードを選んだときは充電完了時に音がしません（無音モード）。
5. 充電が完了すると充電表示ライトが「緑」の点灯に変わり、バッテリー挿入時に設定した充電完了メロディーや電子ブザーが鳴ります。無音モードを選択した場合には完了時に音はしません。
6. 設定した充電完了メロディーは急速充電器の電源プラグを抜いても記憶されています。




















(※) 出荷時は電子ブザーに設定されています。




# 使い方

## 充電表示ライトについて







充電表示ライトの内容は以下のようになっています。  
(通常充電のライト表示および表示内容)

ライト表示  点滅  点灯	表示内容
  	充電前「緑 1 個」点滅 電源に差し込んだ状態です。
  	冷却中「赤 1 個」点滅 バッテリーが高温です。冷却後、自動的に充電開始します。
  	充電中「赤 1 個」点灯 バッテリー容量約0~80%を示します。
  	充電中「赤 1 個・緑 1 個」点灯 バッテリー容量約80~100%を示します。
  	充電完了「緑 1 個」点灯 電子ブザー またはメロディー

### (オートメンテナンス時のライト表示および表示内容)

  	オートメンテナンス「黄」点灯 バッテリー寿命低下防止のため充電時間が長くなります。
---	--

### (異常時のライト表示および表示内容)

  	充電不可「赤・緑 1 個」交互点滅 電子ブザー バッテリー寿命またはゴミづまりで充電できません。
  	冷却システム異常「黄」点滅 冷却ファン故障または冷却不足です。

## 注

- ・ DC18RC はマキタバッテリー専用の急速充電器です。ほかの目的に使用しないでください。
- ・ 使用直後のバッテリーや直射日光の当たる所に長時間放置したバッテリーを充電されますと充電表示ライトが「赤」の点滅を繰り返す場合があります。このようなときは、充電器内蔵の冷却ファンによりバッテリーを冷却してから充電を開始します。
- ・ 充電開始後、充電表示ライトが「赤・緑」の交互点滅を繰り返し、電子ブザーが「ピッピッピッ」と約 20 秒間鳴った場合は、バッテリーの寿命またはゴミづまりで充電できません。
- ・ バッテリーを連続で充電される場合は、充電時間が長くなることがあります。
- ・ オートメンテナンス機能により、充電時間が周囲温度（10℃～40℃）やバッテリーの状態に応じて変動します。
- ・ 次のような状態のときは、充電器またはバッテリーに故障があると考えられますので、充電器とバッテリーの両方を、お買い上げの販売店または当社営業所へお持ちください。
  - × 充電器の電源プラグを 100 V の電源コンセントに差し込んでも、表示ライトが「緑」に点滅しない。
  - × バッテリーを挿入しても、表示ライトが「赤」に点灯または点滅しない。
  - × 充電開始後、表示ライトが「赤」に点灯した後、1 時間以上たっても充電が完了しない。（表示ライトが「緑」に変わらない。）

## 冷却システムについて

- ・ バッテリーの性能を十分に発揮させるため、充電器内蔵の冷却ファンによりバッテリーを効率良く冷却するシステムです。送風の音がしますが故障ではありません。
- ・ 冷却ファンが故障したり、充電器やバッテリーのゴミづまりによって冷却不足となった場合、「黄」のライトが点滅し冷却システム異常をお知らせします。冷却システム異常の場合も充電を行いますが、充電時間が長くなる場合があります。このようなときは、充電器、バッテリーの風穴がふさがれていないか、または送風の音がしないか、ご確認ください。
- ・ 充電中、送風の音がしない場合がありますが、「黄」のライトが点滅していなければ故障ではありません。冷却ファンを停止して充電することがあります。
- ・ 充電器、バッテリーの風穴をふさがないでください。
- ・ 頻繁に「黄」のライトが点滅するようなときは、点検・修理をお申し付けください。

# 使い方

## オートメンテナンス機能について

- ・ オートメンテナンス機能は、バッテリーの使用状態に応じて自動的にバッテリーを長持ちさせるように最適な充電を行うことを特徴としています。
- ・ 下記 1 ~ 4 の状態となった場合、特にバッテリー寿命が低下しやすい状況にあるため、充電中に「黄」のライトが点灯して充電時間が長くなることがあります。
  - 1 高温充電の繰り返し
  - 2 低温充電の繰り返し
  - 3 満充電バッテリーの再充電の繰り返し
  - 4 過放電の繰り返し(過放電とは工具の力が弱くなってもさらに使用する状態です。)

## バッテリーを長持ちさせるには

- ・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
- ・ 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・ 充電は周囲温度 10℃～40℃の範囲で行ってください。
- ・ 使用直後などの熱くなったバッテリーは、充電器に差し込んで冷却し充電することをおすすめします。
- ・ 長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリーは充電してから保管することをおすすめします。

## バッテリーの回収について

使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店または当社営業所へご持参ください。



リチウムイオンバッテリーは  
リサイクルへ

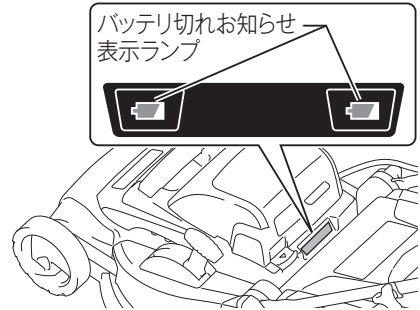
## 充電器の点検・修理・保管について

- ・ いつも安全に能率よくお使いいただくために定期点検をおすすめします。修理・点検はお買い上げの販売店または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 充電器の保管場所として次のような場所は避けてください。
  - × お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる所
  - × 温度や湿度の急変する所
  - × 湿気の多い所
  - × 直射日光の当たる所
  - × 揮発性物質の置いてある所

## 使い方

### バッテリー切れお知らせ表示ランプ (MLM380D のみ)

- ・ バッテリーの残容量が少なくなると、該当するバッテリー側の表示ランプが点滅します。さらに使用を続けてバッテリーの残容量が無くなると本機は停止して表示ランプが 10 秒間点灯します。  
この場合は、バッテリーを取りはずして充電してください。



# 使い方

## MLM381D

### バッテリー保護機能

バッテリー寿命を長くする目的で出力を自動停止する保護機能が付いています。本機を使用中、下記状態になりますとモータが自動停止しますが、これはバッテリーの保護機能によるものであり故障ではありません。

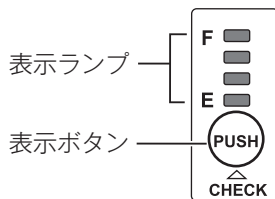
- ・ 本機が過負荷状態になるとモータが自動停止します。このときはいったんスイッチを離し、本機よりバッテリーを取りはずした後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。
- ・ バッテリーの温度が高温になるとモータが自動停止します。スイッチを操作してもモータは停止したままです。このときはバッテリーの使用を中断し、本機よりバッテリーを取りはずし、バッテリーを冷ますか、または充電してください。
- ・ バッテリーの容量が少なくなるとモータが自動停止します。スイッチを操作してもモータは停止したままです。このときは本機よりバッテリーを取りはずし、バッテリーを充電してください。

### バッテリーについて

- ・ お買い上げ時は、バッテリーは十分に充電されていないため、バッテリー保護機能が働いている場合があります。(スイッチを操作すると本機は動くことがありますので注意してください。) ご使用前に充電器で正しく充電してからご使用ください。
- ・ 使用しないときはバッテリーカバーをかぶせてください。バッテリーを水やほこりから保護するのに役立ちます。

### バッテリーの容量表示方法

- ・ バッテリーの表示ボタンを押すと、表示ランプが約3秒間点灯してバッテリーの残容量を表示します。



例) 45%~70%表示時

## 注

- ・ 最下位の表示ランプ (E 表示の横) のみ点滅する場合、もしくは全ての表示ランプが点灯しない場合はバッテリーの残容量が少なくなっているため、工具が作動しません。この場合はバッテリーを充電するか、充電済のバッテリーに交換してください。
- ・ 充電完了しても表示ランプが2個以上点灯しない場合、バッテリーの寿命です。
- ・ 表示ランプの上位2つと下位2つが交互点灯する場合はバッテリーが故障している恐れがあります。お買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 工具使用中、使用直後はやや少なめに表示されます。



# 使い方

## 表示の見かた

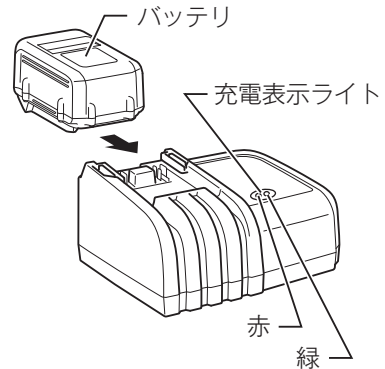
表示ランプ	容量
■: 点灯 □: 消灯 ■: 点滅 E ■■■■ F	70%~100%
■■■■□	45%~70%
■■■□□	20%~45%
■□□□	0%~20%
■□□□	充電してください。
■■■□□ ↑ ↓ □□■■■	故障の可能性があります。

※容量表示はバッテリーの使用条件、温度環境により正確に表示されない場合があります。









## DC36WA

### バッテリーの充電方法

1. 充電器の電源プラグを100Vの電源コンセントに差し込んでください。充電表示ライトは「緑」の点滅を繰り返します。
2. バッテリーを充電器の挿入ガイドにそって、一番奥まで入れてください。
3. バッテリーを挿入しますと、充電表示ライトが「赤」に点灯し、充電を開始します。充電が完了すると「緑」の点灯に変わります。
4. バッテリーを抜き取り、電源コンセントから充電器の電源プラグを抜いてください。



# 使い方

ライト表示	表示内容
 	充電前「緑1個」点滅 電源に差し込んだ状態です。
 	待機中「赤1個」点滅 バッテリーが高温です。適度な温度になると自動的に充電開始します。
 	充電中「赤1個」点灯 バッテリー容量約0~80%を示します。
 	充電中「赤1個・緑1個」点灯 バッテリー容量約80~100%を示します。
 	充電完了「緑1個」点灯
 	充電不可「赤・緑1個」交互点滅 バッテリー寿命またはゴミづまりで充電できません。

# 使い方

## 注

- ・ DC36WA はマキタバッテリー専用の充電器です。他の目的に使用しないでください。
- ・ 使用直後のバッテリーや直射日光の当たる所に長時間放置したバッテリーを充電されますと充電表示ライトが「赤」の点滅を繰り返す場合があります。このようなときは、バッテリーの温度が下がると充電を開始します。
- ・ 充電開始後、充電表示ライトが「赤・緑」の交互点滅を繰り返した場合は、バッテリーの寿命またはゴミつまりで充電できません。
- ・ 購入後、初めて充電する場合や、1年以上以上放置されたバッテリーを充電する場合は、充電時間が2時間以上かかることがあります。
- ・ 次のような状態のときは、充電器またはバッテリーに故障があると考えられますので、充電器とバッテリーの両方を、お買い上げの販売店または当社営業所へお持ちください。
  - × 充電器のプラグを100Vの電源に差し込んでも、表示ライトが「緑」に点滅しない。
  - × バッテリーを挿入しても表示ライトが「赤」に点灯または点滅しない。
  - × 充電開始後、表示ライトが「赤」に点灯した後、3時間以上たっても充電が完了しない。(表示ライトが「緑」にならない。)
- ・ バッテリーを使用しないときは、バッテリーカバーをかぶせてください。バッテリーを水やほこりから保護するのに役立ちます。

## バッテリーを長持ちさせるには

- ・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
- ・ 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・ 充電は周囲温度10℃～40℃の範囲で行ってください。
- ・ 使用直後などの熱くなったバッテリーは、少し冷めてから充電してください。
- ・ 長期間(6ヶ月以上)ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリーは充電して保管することをおすすめします。

## バッテリーの回収について

- ・ 使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店または当社営業所へご持参ください。



Li-ion

リチウムイオンバッテリーは  
リサイクルへ

## 充電器の点検・修理・保管について

- ・ いつも安全に能率よくお使いいただくために定期点検をおすすめします。
- ・ 修理・点検はお買い上げの販売店または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 充電器の保管場所として次のような場所は避けてください。
  - × お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる所
  - × 温度や湿度の急変する所
  - × 湿気の多い所
  - × 直射日光の当たる所
  - × 揮発性物質の置いてある所

# 使い方

## 刈り込み高さの調整

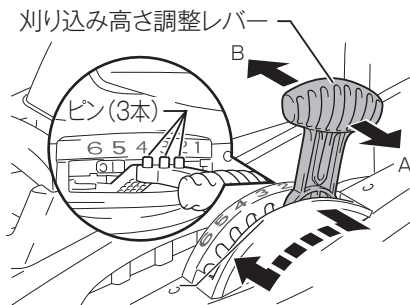
### ⚠ 注意

刈り込み高さを調整する場合は本機の下に手や足を入れないように注意してください。

刃物が傷つくのを防ぐため、作業時以外は刈り込み高さ調整レバーを“3”以上に合わせてください。

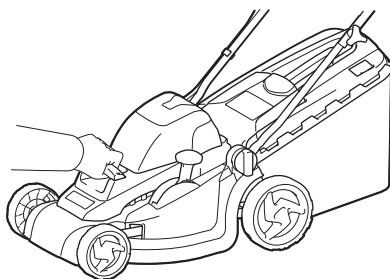
刈り込み高さ調整レバーで刈り込み高さを調整します。刈り込み高さは25～75 mmの高さに調整することができます。

1. バッテリーまたはキーをはずします。
  2. 刈り込み高さ調整レバーをピン(3本)のロックがはずれるまでA側に引っ張ります。その状態で設定する数値にセンターのピンが合うようにレバーを動かしB側に押し込みロックします。
- ・ 数値は芝生の長さの目安です。目立たない場所で試し刈りをし、お好みの高さに調整してください。



### 注

- ・ 刈り込み高さを調整する場合は、図のように手で押さえるなど本機が動かないようにして操作してください。



# 使い方

## スイッチの操作

### ⚠ 警告

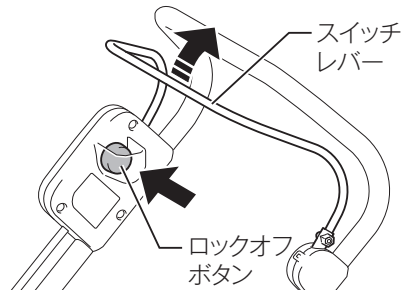
本機にバッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・ スイッチを入れたままバッテリーを差し込むと急に回りだし、事故の原因になります。

### ⚠ 注意

ロックオフボタンを押さずにスイッチレバーを引いても始動しません。キーを取り付けないと始動しません。

- ・ スイッチはロックオフボタンを押した状態でスイッチレバーを引くと入り、離すと切れます。
- ・ スイッチレバーを離すと自動的にロックオフボタンが戻り、スイッチが入らない状態になります。



# 使い方

## 刈り込み方法

### ⚠ 警告

あらかじめ小石、棒切れなどを取り除いてください。また、雑草も事前に取り除いてください。



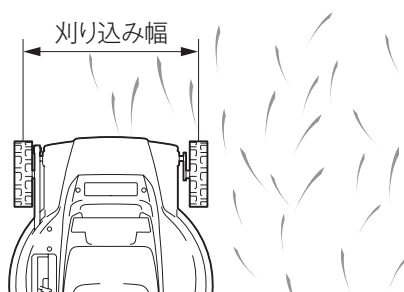
### ⚠ 注意

一度にたくさんの芝を刈ろうとすると負荷が大きくなりモーターが始動しないときがあります。そのときは刈り込み高さを高くして再度始動させてください。

- ・ ハンドルを両手でしっかり持って作業してください。
- ・ 刈り込みの速さは1 mを2秒ぐらいで動かすのが目安です。

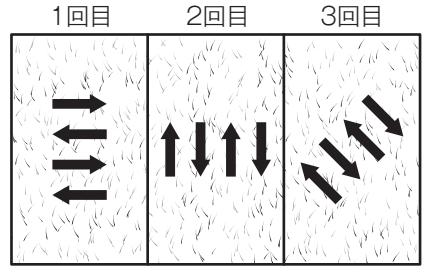


- ・ 本機前輪の中央の幅が刈り込み幅の目安です。一度刈った部分を少し重ねて刈ると、ムラなく刈ることができます。



## 使い方

- ・ 刈り込みの方向を変えて刈ると、芝目が一定方向になるのを防ぐことができます。右図のように毎回方向を変えて刈り込みを行うときれいになります。
- ・ 定期的に集草カゴ内の刈った芝のたまり具合を確認して、いっぱいになる前に捨ててください。

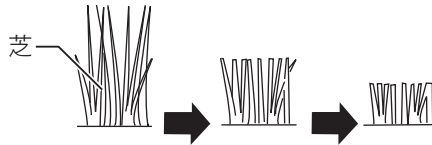


### 注

- ・ 集草カゴ内がいっぱいそのまま作業すると刃物がスムーズに回転しなくなりモータに負担がかかり、故障の原因になります。

### 長い芝の刈り方

- ・ 長い芝は一度に短く刈らず日をあけて徐々に刈り込み高さを低くして短く刈りそろえてください。



### 注

- ・ 長い芝をいきなり低い刈り込み高さで刈ると、芝が枯れたり本機内に芝が詰まることがあります。

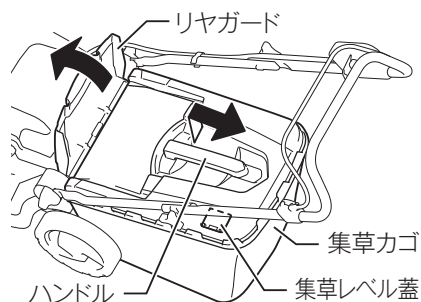


# 使い方

## 芝の捨て方

- ・ バッテリまたはキーをはずします。
- ・ リヤガードを開き、集草カゴのハンドルを持って取りはずします。
- ・ 集草カゴの中の芝を空にします。

集草レベル蓋：作業中は集草カゴを通った風が抜けていくために蓋が開閉を繰り返します。集草カゴがいっぱいになると蓋が閉じたままになるので、作業を中断して芝を捨ててください。



## 注

- ・ 集草カゴが劣化して穴が開くなど、傷んでいる場合には、新しい集草カゴに交換してください。
- ・ 集草レベル蓋は目安です。刈る芝の状態などによっては正しく動作しない場合があります。

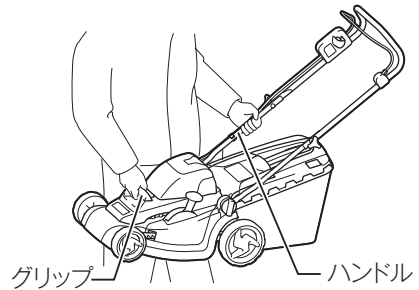
# 使い方

## 運搬について

### ⚠ 警告

運搬時はバッテリーまたはキーを抜いてください。

- ・ 本機が作動し、けがの原因になります。
- ・ 持ち運びは、図のようにグリップとハンドルを持って運んでください。



## 保管方法

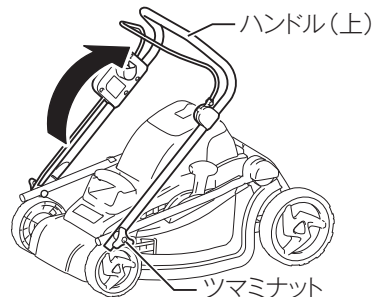
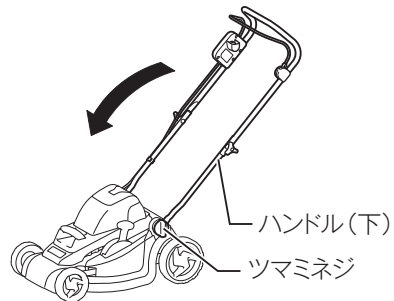
### ⚠ 警告

保管時はバッテリーまたはキーを抜いてください。

- ・ 本機が作動し、けがの原因になります。

## ハンドルの折りたたみ方

1. ツマミネジ (2箇所) をゆるめ、ハンドル (下) を両側に広げながらハンドル全体を矢印方向に倒します。
2. ツマミナット (2箇所) をゆるめて、ハンドル (上) を矢印方向に起こし、ツマミナットを軽く締め付け固定します。



## ⚠ 警告

点検・整備・刃物の交換の際には、必ずスイッチを切り、本機よりバッテリーを抜いてください。

- ・ バッテリーを本機に差し込んだまま行なうと、事故の原因になります。

必ず刃物が止まっていることを確認してから行ってください。

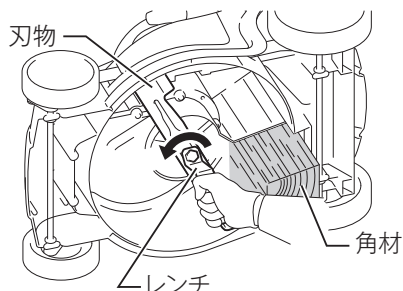
- ・ けがの恐れがあります。

点検・整備・刃物の交換の際には、手袋を着用してください。

- ・ けがの恐れがあります。

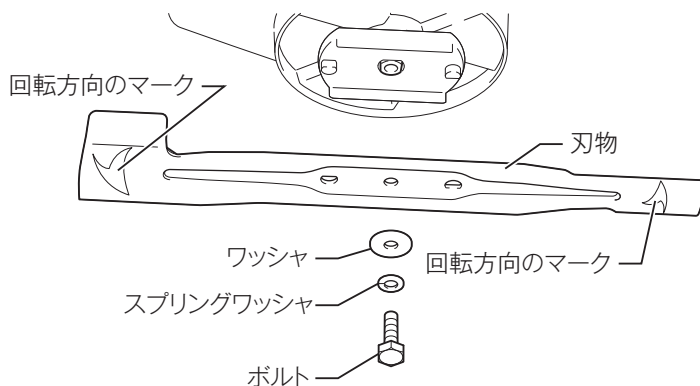
## 刃物の取りはずし方

1. 芝刈機を刈り込み高さ調整レバーが上になるように倒します。
2. 本機のデッキに図のように角材などを差し込み、刃物を固定します。
3. 付属のレンチを使用してボルトを左に回してゆるめます。
4. ボルト、スプリングワッシャ、ワッシャ、刃物の順に取りはずします。



## 刃物の取り付け方

- ・ 刃物の取り付けは、刃物の取りはずし方と逆の手順で組み付けます。
- ・ 向きに注意して、刃物、ワッシャ、スプリングワッシャ、ボルトの順に組み付けます。



- ・ 刃物は回転方向のマークがある向きを表にして組み付けてください。

## 保守・点検について

困ったときは  
故障かな?と思ったら

- ・ 修理を依頼する前に下記項目を点検してください

症状	原因	対処
始動しない	バッテリーが入っていない	充電されたバッテリーを2個差し込んでください。(MLM380D) 充電されたバッテリーを差し込んでください。(MLM381D)
	キーが入っていない	キーを差し込んでください。
	バッテリーの故障	バッテリーを充電してください。 充電できなければ交換してください。
少し使用すると止まってしまう	バッテリー残容量が少ない	バッテリーを充電してください。 充電できなければ交換してください。
	刈り込み高さ設定が低い	刈り込み高さを高くしてください。
回転が低い	バッテリーがしっかり挿入されていない	取扱説明書に従ってバッテリーを正しく挿入してください。
	バッテリー残容量が少ない	バッテリーを充電してください。 充電できなければ交換してください。
	回転伝達部の故障	修理をお申し付けください。
刃物が回転しない	枝などの異物が刃物に絡まっている	異物を取り除いてください。
	回転伝達部の故障	修理をお申し付けください。
異常な振動	刃物が割れたり、欠けている	新品の刃物に交換してください。

## 保守・点検について

### 本機のお手入れ

- ・ 乾いた布か石けん水を付けた布できれいに拭いてください。

### 注

- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

### ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店または当社営業所にお申し付けください。





882814A7  
NNP

**株式会社 マキウ**

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502  
TEL.0566-98-1711 (代表)